



地震により破損した屋根瓦

建設 生活

一般会計補正予算
補正であがっている集会施設の被害内容はどんなものか、また金額は、の質疑に、主に屋根瓦、雨樋、内壁の破損である。高いところでは60万円。低いところでは2万円程度で、補助率は2分の1である。

一般家屋に対する助成は考えているか、またその被害状況は把握しているか、には、被害状況の件数は把握しているが、被害額については把握していない。また、一般家屋への助成等については現在のところ考えていない。

駐輪場、放置自転車置き場を保育所建設用地にするものの、地形が悪いが、広さはどれくらいか、の質疑には、面積は1千440㎡であり、三角形の形状で、東西に12.5m、南北で25mほどである。放置自転車を置く場所は西側の方になるが、どれくらいの面積を考えているのか、の質疑には、駐輪場を含めると約300㎡だが、置き場は、150㎡くらいであり、現在

賛成全員で可決



音達調査が実施される防災無線



市役所ロビー

総務 水道

一般会計補正予算
問 現本庁舎は、どの程度の震度に耐えられるのか。
答 震度6以上で倒壊、崩壊の危険性が高い。
問 現庁舎は狭いとのことだが広さの基準は。
答 「地方債事業費算定基準」の試算では8千㎡で、現本庁舎は、1千889.5㎡で第二庁舎、教育委員会、保健センター12階、書庫を合わせると、約3千800㎡です。
問 庁舎の耐震診断・改修は

二重投資になっても、市民や職員の安全のためには、庁舎が崩壊しないような手立てを新庁舎建設の有無にかかわらずやらざるを得ないのでは。
答 市長の指示の根底にあるのは、東日本大震災時に被災地で庁舎が波にのまれ、職員が亡くなり復興の拠点としての機能を発揮できなかったことだと思う。
向こう30年間の範囲内で、東京湾北部地震が70%程度の確立で起こると言われている

ことから、学校の耐震化を優先的に進めた。庁舎が復興の拠点として自立し、機能を発揮できるものを優先的に取り組まなければならないと考えている。
問 エコ対策として消耗品を購入するが、節電効果はどのくらいか。
答 よしずや遮熱フィルムを購入し、冷房効率を上げ、消費電力の15パーセント削減に結びつける。
賛成全員で可決



昭和43年建設の市役所。安全性は…。